資料2

ゲームチェンジを促す人口の変動と教育に求められる変化

2026年11月24日

株式会社 日本政策投資銀行 地域調査部 特任顧問
株式会社 日本総合研究所 主席研究員

事実発見（みきわめ）＆構造把握（みとおす）業

藻谷浩介（もたに） kosuke@motani.com



聞きかじりは間違いのもと: 例① 国際競争

日本が稼いでいる相手は？

25年7月～26年6月の経常収支©財務省国際収支状況

① 対 米国
② 対 台湾
③ 対 中国+香港
④ 対 インド
⑤ 対 ドイツ
⑥ 対 イタリア
⑦ 対 スイス

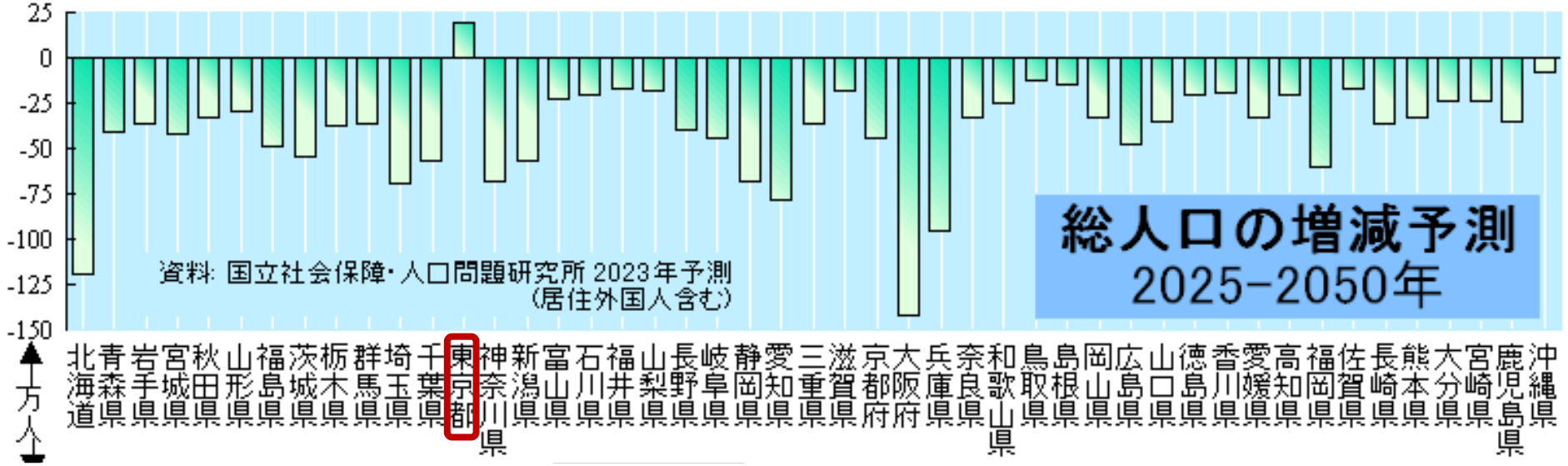
聞きかじりは間違いのもと: 例① 国際競争

日本が稼いでいる相手は？

25年7月～26年6月の経常収支 ©財務省国際収支状況

① 対 米国
② 対 台湾
③ 対 インド
④ 対 中国+香港
⑤ 対 ドイツ
⑥ 対 イタリア
⑦ 対 スイス

例② 人口増の東京だけが栄える？



「頭の良さ」(＝脳の高性能)は無数にある

☆ 記憶力 / 記憶の応用力

★ 意思伝達力 / 他者の気持ちを推察する能力

☆ 美的感覚 / 味覚 / 聴覚 / 嗅覚 / 直観力

★ 運動神経 / 平衡感覚 / リズム感

☆ 触覚 ← 触ることで状態を理解する能力

★ 協働する能力 / 集団の中で自分を保つ能力

そして、大学が入試で確認しようとしてきた「頭の良さ」とは

☆☆「推論し、客観的事実を認識する能力」

ところがお受験勉強で鍛えられるのは、頭の良さではなく

× 聞きかじりを知ったように語る力(生成AIと同じ)

人口成熟が深刻なのは地方？都会？世界？

国際連合
人口部
2024年
中位推計 →

移民含む

国立社会保障・
人口問題研究
所中位推計→

外国人居住者
含む

2025-50年の増減	高齢化率	0-44歳	75歳以上
① 中国	15%→31%		
② 韓国	20%→40%		
③ 台湾	20%→39%		
④ ASEAN	8%→16%		
⑤ インド	7%→15%		
⑥ 英独仏	22%→28%		
⑦ 米国	18%→23%		
⑧ ブラジル	11%→23%		
⑨ 日本	31%→37%		
⑩ 東京都	23%→30%		
⑪ 熊本県	33%→39%		
⑫ 秋田県	40%→50%		

講師(藻谷)の考える教育の4目標

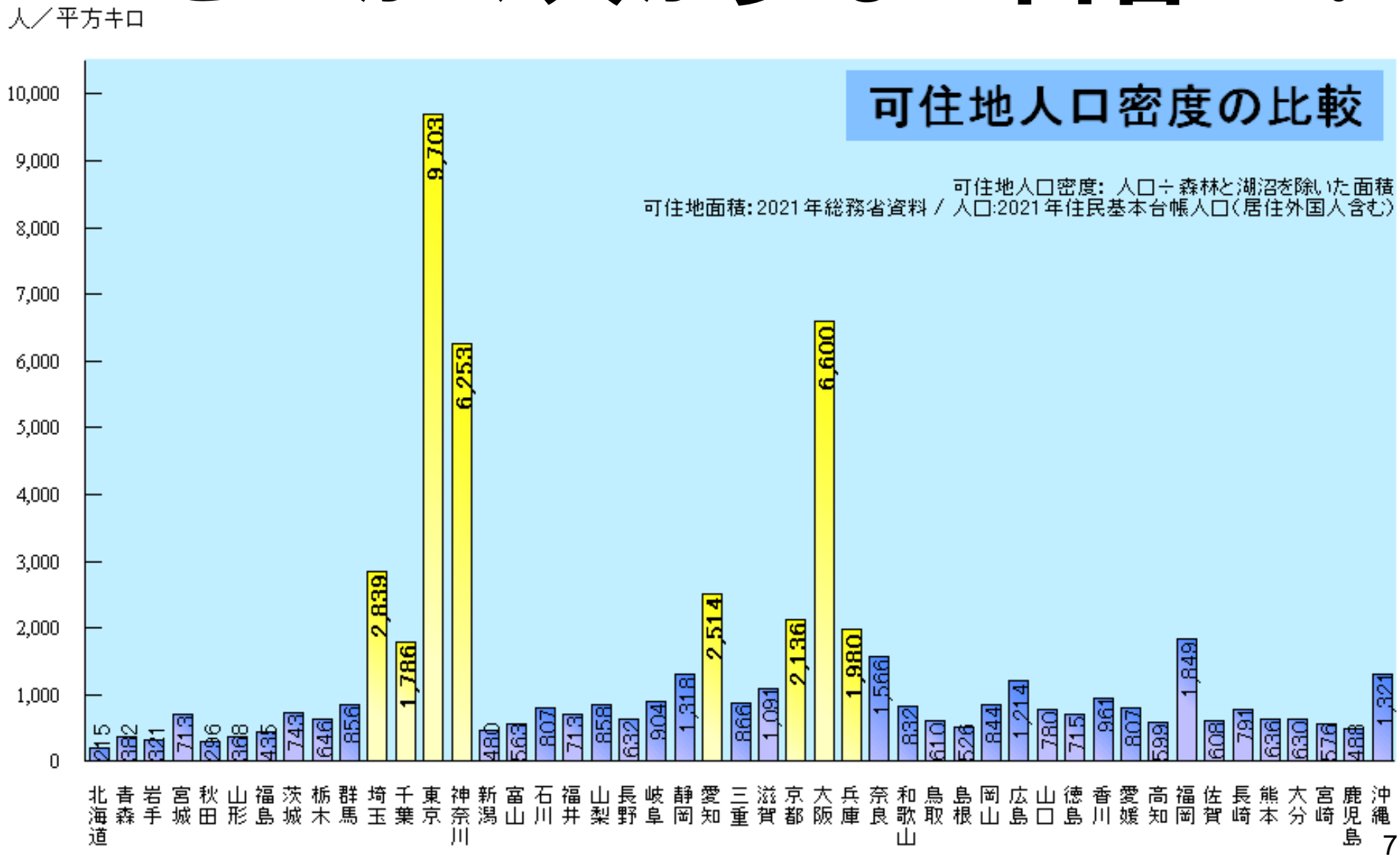
① 数字や実体験からの推論を訓練する
(→真偽不明や間違いを、事実と区別できる)

② チームの中で何を分担して貢献するのかを、さまざまなパターンで訓練する

③ 他人を害するような性向を、自制し反省し昇華できるよう訓練する

④ 各人が持つポテンシャルを、それぞれ最大限に花開かせる(develop)

大都市圏に比べると
とにかく人が少ない田舎…？



秋田県の可住地人口密度は世界だと？

山地と水面を除いた面積（農地含む）で人口を割ると、
秋田県には東京都の3%の296人しか住まない。
世界の国の中で、そんな秋田と同じ密度感なのは…？

① イタリア

② 中国

③ フランス

④ 米国

⑤ ニュージーランド

日本の大都市圏は 世界的に見れば異常なレベルの人口“過密”地

“過疎”は自然資本の豊かな“適疎”
人口が半減しても、地方は“適密”地帯

人口減少時代の日本のあり方

① “効率”の悪い田舎からは撤退し、都会に集中する。

② 繋栄をあきらめる。

③ 田舎は「世界標準」に戻す。